令和４年度社会福祉法人帯広太陽福祉会経営報告

Ⅰ　令和４年度の事業概要

令和４年度は、築 40 年を経過する光り園の移転改築用地の確保と基本設計に取り組みました。特に土地収用法及び開発行為、農地転用の手続きを経て、令和５年３月７日に売買契約を締結、建設用地の取得に至った。このことで次年度以降の建設準備に繋がる一年となりました。

また、令和４年１月から３月にかけて発生した太陽園本館の新型コロナウイルス感染症のクラスターからの回復へ取り組んだ。経営の安定を図ることを目的とした資金の調整を行い、基盤強化を行いました。前年の経験を踏まえ施設毎の感染対策マニュアル及び事業継続計画に基づき対策を図りましたが、４月以降も新型コロナウイルス感染症の威力は収まらず、東明寮及び光り園、太陽園本館、新館、杜のそらにおいて、クラスターが延べ７件発生しています（感染者：入居者１０６名、職員２８名）。特に介護系事業所における新規入居者充足の遅れと通所系サービスの利用率低下が経営面に大きな影響を及ぼしました。

経営全般においては、建設等大型事業もなく各施設の適正運営に取り組みました。

法人財務状況は、資産では、流動資産として、現金預金 244,549 千円、事業未収金 179,315 千円等で 432,947 千円、また、固定資産の基本財産として、光り園、太陽園、東明寮等の土地・建物 2,235,623 千円、その他の固定資産として器具及び備品、退職給付引当資産、施設整備積立資産等の 838,553 千円、合計 3,074,177 千円で、資産合計 3,507,124 千円となりました。

負債では、流動負債として、事業未払金 27,035 千円、1 年以内返済予定設備資金借入金 51,528 千円等で 102,143 千円、また、固定負債として設備資金借入金 416,518 千円、長期運営資金借入金 59,000 千円、退職給付引当金 184,611 千円で合計 660,129 千円、負債合計 762,272 千円となり、負債を除く差引純資産は 2,744,851 千円、前年度決算対比 31,458 千円（1.13%）の減となりました。

施設別の事業概要では、

光り園は、重度・高齢化した利用者が健康で安心して暮らせるよう新型コロナウイルス感染症予防対策の取組として健康観察や毎日の消毒を継続し、感染予防に努めてきたが、８月に施設内集団感染が発生しました。その後、即時対応を行い、重篤な症状が出ることなく短期間で終息を迎えることができた。

また、利用者の障害特性を考慮した自立活動を目標にした視覚的構造化を活用した環境づくりの取り組みを行った。

施設運営面では、施設入所支援定員４０名のところ３９名、生活介護定員４０名のところ４１名、就労継続支援Ｂ型定員２０名のところ１４名、短期入所定員２名のところ４名が利用する。

入所者の病気で退所者が続いたり、骨折の増加、行動障害支援の多様化が更に進んでいる。

施設経営面では、各種加算の確保により収入増を図った結果、事業活動の当期活動増減差額で 62,713,636 円となりました。

次に、太陽園は、施設サービスの利用実績の主なものとして、特別養護老人ホームでは、予

算 95.5%のところ決算 86.3%、ショートステイ予算 80.0%のところ決算 62.3%、デイサービス予算 83.3%のところ決算 73.9%となり、前年度末の大規模なクラスター発生からの回復に時間がかかっていることや複数回のクラスター発生により今年度も減収となりました。

また、杜のそらにおいては、小規模多機能の契約数 25.6 名（0.5 名減）・特養で予算 97.0%のところ決算 96.4%と安定した稼働率を確保しているものの、ここ数年の財政状況の傾向を見ると、施設整備借入金の返済金が単年度収支を圧迫する要因となっており、一層の経営の効率化が必要と考えております。

施設経営では太陽園・杜のそら合計で、当期事業活動収支差額は 57,068,959 円の減となりました。

次に、東明寮は、新型コロナウイルスクラスター発生による対応など、感染拡大の長期化にともない、その対応や予防と日常生活のバランスを考慮し事業に取り組みました。

感染予防策を取りながら寮内での行事や売店の開催などの工夫を引き続き行い、入所者の生活に配慮しました。

施設運営では、定員 90 名のところ、平均 92.3 名（前年 92.1 名）の在籍となりました。

施設の機能強化と地域生活移行支援として、居宅生活訓練事業、一時入所と東明寮独自の通所事業、障害者グループホーム「せせらぎ」の運営に取り組みました。また、救護施設先駆的シェア事業を活用し、コロナ禍の中、大正、大空地区での暮らし安心相談を電話相談中心に開催しました。

施設経営では、東明寮、せせらぎ合計で、当期事業活動収支差額は 3,688,844 の増となりました。

なお、全会計における資金収支は、当期末支払資金残高（期末残高）は 382,331,305 円（内訳　本部 6,266,240 円　光り園 212,045,513 円　太陽園 90,281,611 円　杜のそら 23,638,768 円　東明寮 42,390,423 円　せせらぎ 7,708,750 円）となっており、健全財政を維持しております。

Ⅱ　令和４年度における法人事業経過報告

１　登記事務関係

釧路地方法務局帯広支局に対し、下記のとおり登記を行った。

①　資産総額変更登記　2,776,310,215 円　　令和４年６月１３日

２　理事会開催関係

第１回　令和　４年　５月２６日（光り園多目的ホール）
第２回　令和　４年　９月　２日（上帯広農業センター集会室）
第３回　令和　４年１２月２０日（光り園多目的ホール）
第４回　令和　５年　３月２８日（上帯広農業センター集会室）

３　評議員会開催関係

第１回　令和　４年　６月　９日（上帯広農業センター集会室）

第２回　令和　５年　３月２８日（上帯広農業センター集会室）

４　法人監事による監査の実施
第１回　令和　４年　８月２５日（第１・四半期分）　　光り園多目的ホール
第２回　令和　４年１２月　８日（第２・四半期分）　　光り園多目的ホール
第３回　令和　５年　３月１６日（第３・四半期分）　　光り園多目的ホール
第４回　令和　５年　５月１５日（第４・四半期及び決算）光り園多目的ホール

５　実地指導・会計検査等
①　令和　４年１０月２１日（居宅介護支援センター太陽園　帯広市実地指導）
②　令和　４年１１月１１日（グループホーム太陽の家　　帯広市実地指導）
③　令和　４年１１月１１日（グループホーム広野の家　　帯広市実地指導）
④　令和　４年１１月１６日（太陽園小規模多機能ホーム杜のそら　帯広市実地指導）
⑤　令和　４年１１月１６日（地域密着型介護老人福祉施設杜のそら　帯広市実地指導）

６　経営会議関係
①　令和　４年　４月　８日 光り園多目的ホール　（常務、施設長ほか）
②　令和　４年　５月　６日　　同　上　　（常務、施設長ほか）
③　令和　４年　６月　３日　　同　上　　（常務、施設長ほか）
④　令和　４年　７月　２日　　同　上　　（常務、施設長ほか）
⑤　令和　４年　８月　５日　　同　上　　（常務、施設長ほか）
⑥　令和　４年１０月　７日　　同　上　　（常務、施設長ほか）
⑦　令和　４年１１月　４日　　同　上　　（常務、施設長ほか）
⑧　令和　４年１２月　２日　　同　上　　（常務、施設長ほか）
⑨　令和　５年　１月　６日　　同　上　　（常務、施設長ほか）
⑩　令和　５年　２月　３日　　同　上　（理事長、副理事長及び施設長ほか）
⑪　令和　５年　３月　３日　　同　上　　（常務、施設長ほか）

７　役員研修関係
中止

８　職員研修
中止

９　職員処遇改善関係
①国の報酬単価加算額を原資に、介護職員処遇改善及び介護職員処遇改善特別手当を継続支給した（太陽園）
②国の報酬単価加算額を原資に職員の各種処遇改善費用に充てた（光り園）
③年度末臨時特別手当（一律１万円　14 年目）

１０　その他

①法人主催による役員及び三施設合同新年会は中止

②職員の意識交流を図るための広報紙「法人だより」を発行し、全職員に配布した。

第２９号　令和　４年　７月２０日発行

第３０号　令和　５年　１月１２日発行